

令和7年度

**松陰高等学校(通信制)
学校評価**

岡山中央校

令和8年3月31日

…………… [重点項目]生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上 ……………

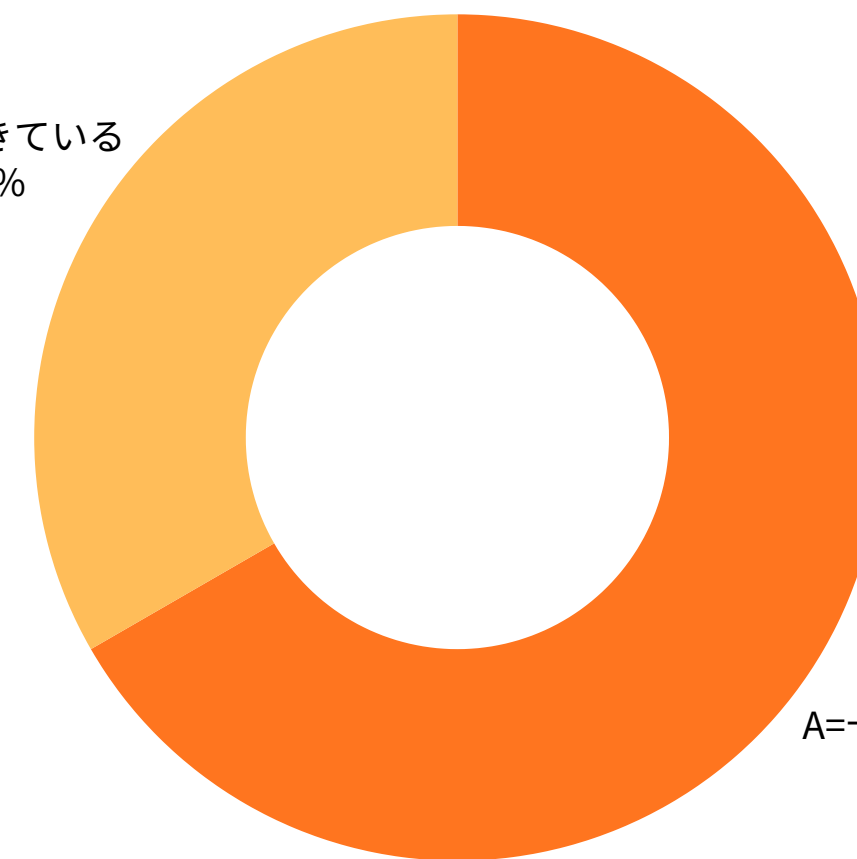
重点目標

- スクーリング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- 学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- 「学習の手引き」の有効な活用
- 個別面談の充実と進路実現へのサポート

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- レポート提出やスクーリング出席数など、生徒の状況を把握し、こまめな注意喚起や励ましの声掛け、保護者との情報・認識共有がよくできていた。
- 「学習の手引き」をもっと活用する。
- 一人ひとりに合わせた指導ができた。次年度も引き続き対応していく。

B=達成できている
33.3%



A=十分達成できている
66.7%

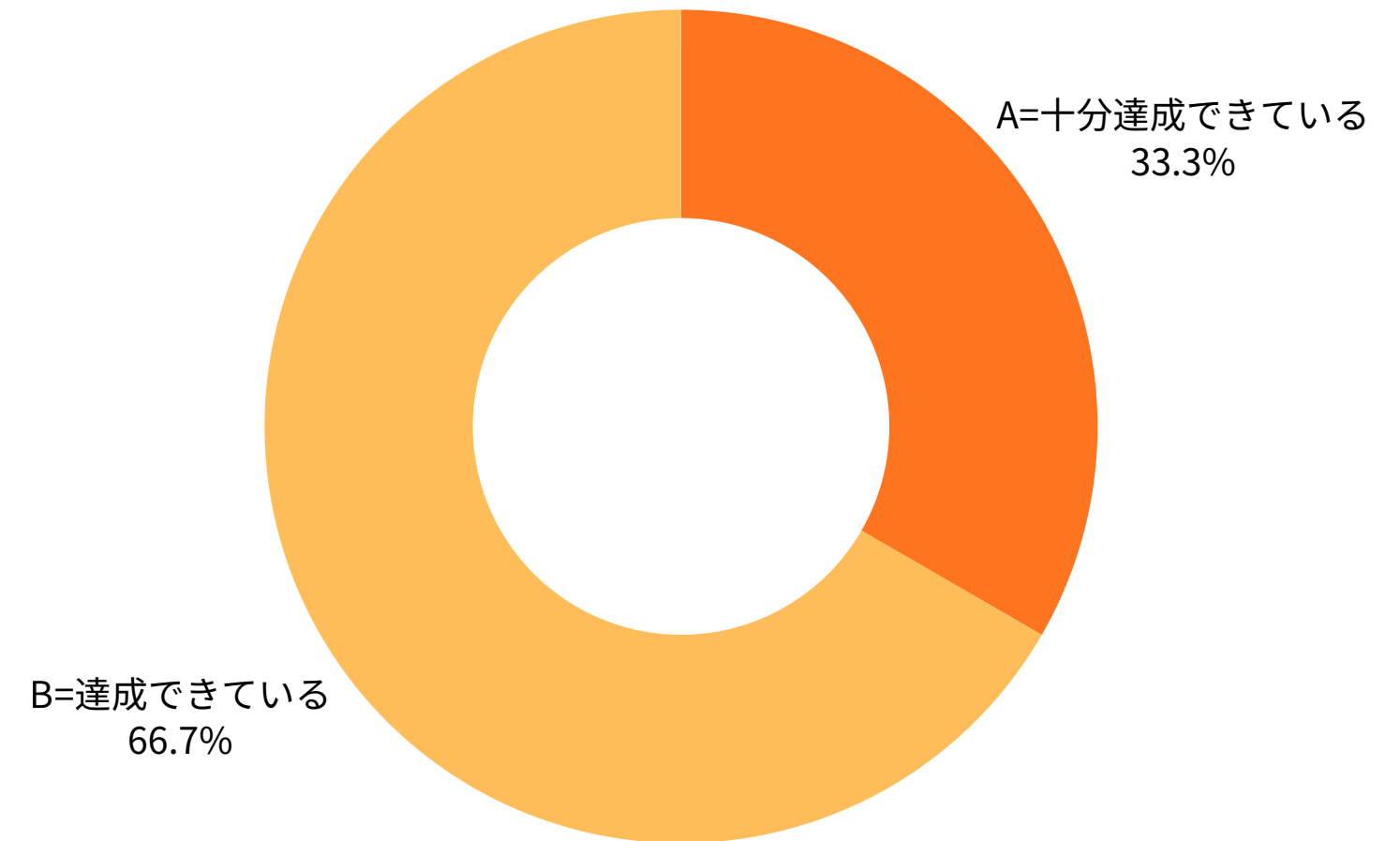
..... [重点項目] 望ましい職業観の育成

重点目標

- 一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- 進路ガイダンス・個別面談の質の向上

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒の自主性を尊重しつつ、当人の志望先が固まってきた際には、志望理由書の書き方や面接でのふるまい方を繰り返し指導したり、具体的な例を示しながらアドバイスするなど、親身になった支援ができています。
- 就職希望の生徒は、就労支援機関等の利用も視野に入れて指導する。
- 放課後や空き時間を十分につかい、登校してきたときにしっかり話を聞き取ることができた。次年度も引き続き、一人ひとりに合わせた対応をしていく。



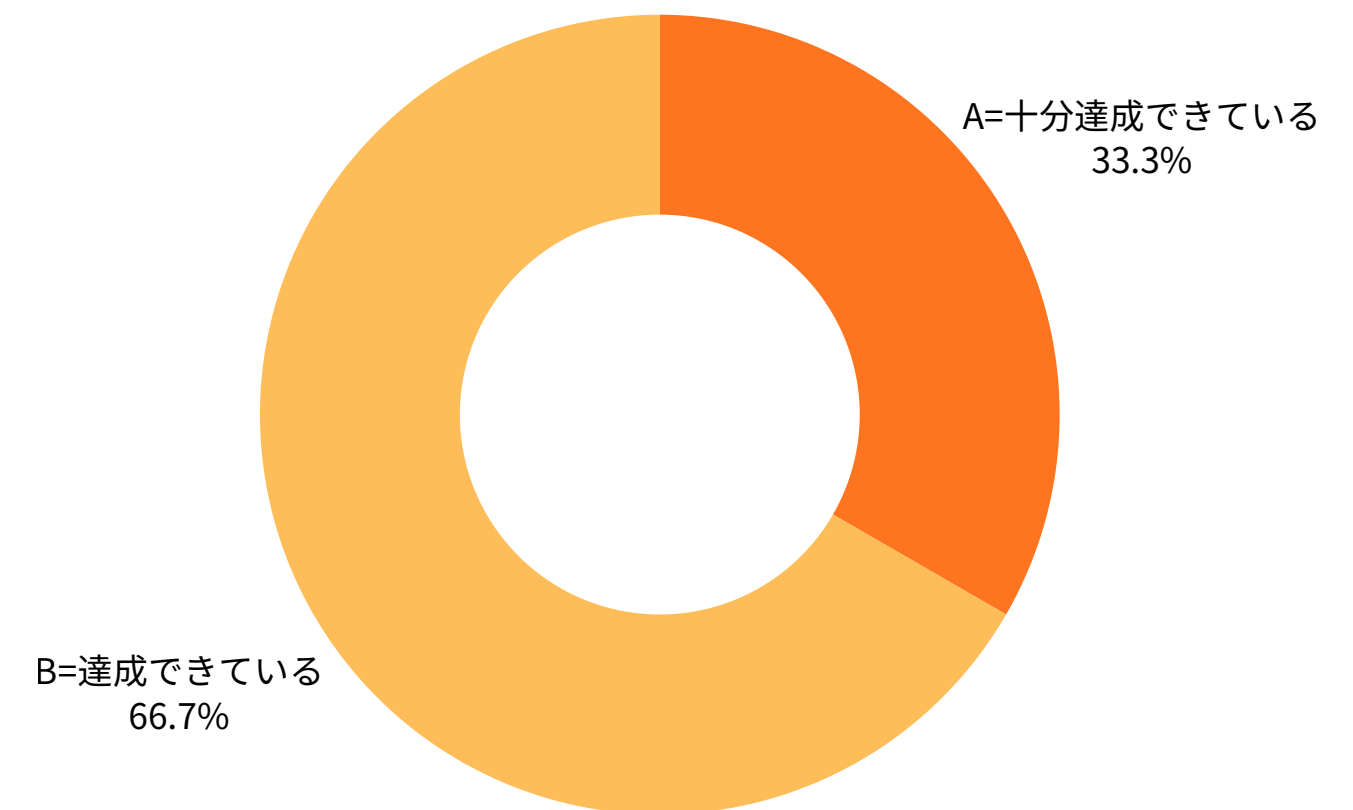
…… [重点項目] 基本的な生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安全と安心） ……

重点目標

- 社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 社会生活でのマナーやルール大切さ、さまざまな提出物等について締切りを守る意識など、折に触れて意識づけを行っている。個人差はあるものの、どの生徒に関しても、入学時・転入時に比べれば、確実に成長していると感じられる。
- 自立する心を持つ人間に育てることを目標とする。
- 全体的に意識の高い学校環境ではあるが、気になるところは、個別対応で、まっすぐに指導できた。生徒へ声掛けの前後は、様子を全教職員で共有できた。次年度も引き続き対応していく。



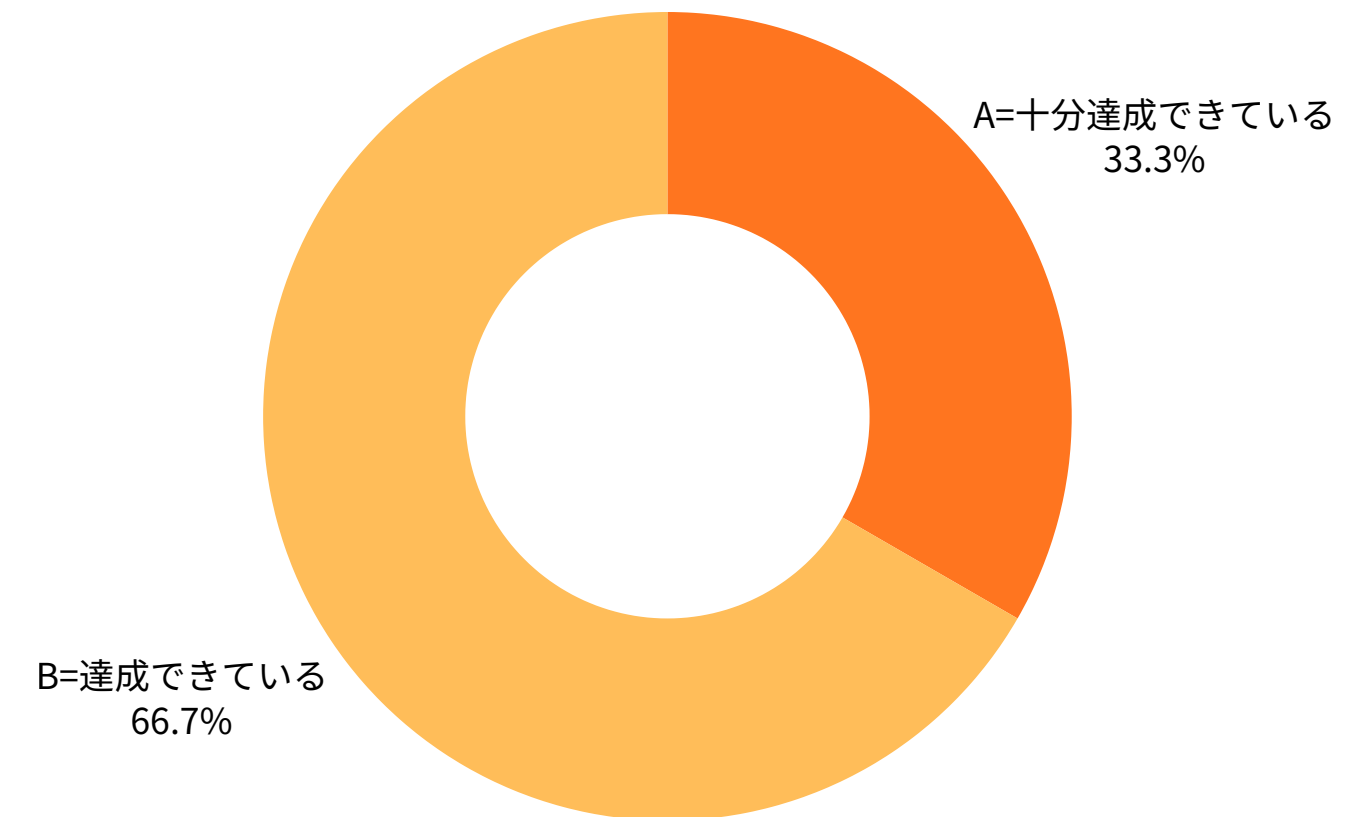
..... [重点項目] 健全な心身の育成

重点目標

- 心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- 教育相談体制の充実
- 校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 家庭内のことなどについてはどうしても不明な部分や踏み込めないところもあるが、日々のあいさつや明るい雰囲気での声掛け、保護者と協調しながらの友達作りのサポートなど、学校をできるだけ生徒にとっての居心地の良い場所にするべく心がけている。
- ボランティア活動の機会を増やす。
- 生徒全体、特に心身のバランスが取りにくい生徒に関しては、登校時には目を離さず、観察し、声掛けをして現在の様子などを読み取り、気持ちを聞くことができ、全職員で情報を共有することができた。修学旅行などの校外活動に関しては、様々なケースや可能性を時間をかけて何度も話し合い、シミュレーションをし、万全の体制で実施できた。集団行動を通して、自分以外の人に関心を持ち、他人への気遣い、また他人の気遣いを感じる経験ができた。また時間やルールを意識してきちんと守ることができた。次年度も、生徒の心身の安全第一で実施していく。



..... [重点項目] 保護者及び家庭との連携

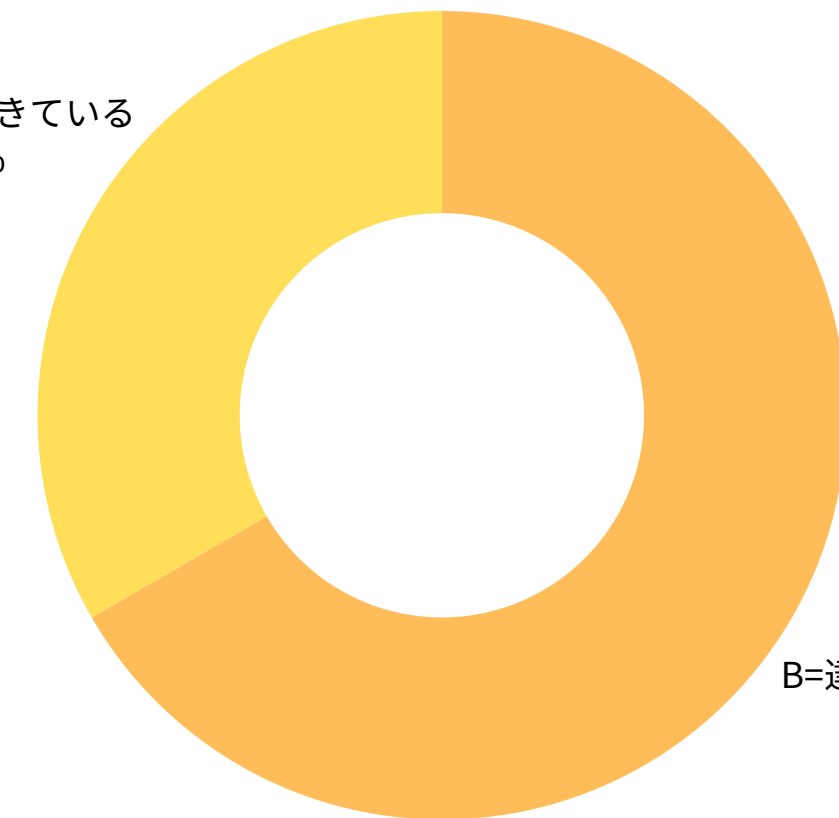
重点目標

- 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 直接、保護者越し、連絡網を通じてなど、さまざまな方法で声掛けを継続し、時間外や個別対応、オンラインでの授業の様子視聴など、生徒が受け入れやすそうな提案を提示したりもしている。それによって学期末ぎりぎり単位を取得できた生徒も生まれたが、どうしても登校できず退学に至る生徒も生んでしまった。そうした生徒を1人も出さずに学年を進められるよう、取り組んでいきたい。
- 家庭的に問題がある生徒や大人数が苦手な生徒への対応に取り組む。
- 不登校の生徒に関しては、電話やメールの手段を使い、保護者と連携しながら、こちらの声が本人に届くよう配慮できた。転入生に関しては、本人の様子を十分に観察し、気持ちや困りごとに関するフォローをできた。生徒に関する諸問題に関しては、どのように保護者に伝えるか職員で話し合い、電話やメールを使い状況を伝え、保護者と連携しながら対応できた。次年度も引き続き対応していく。

C=概ね達成できている
33.3%



B=達成できている
66.7%

..... [重点項目]校外活動への積極的な参加

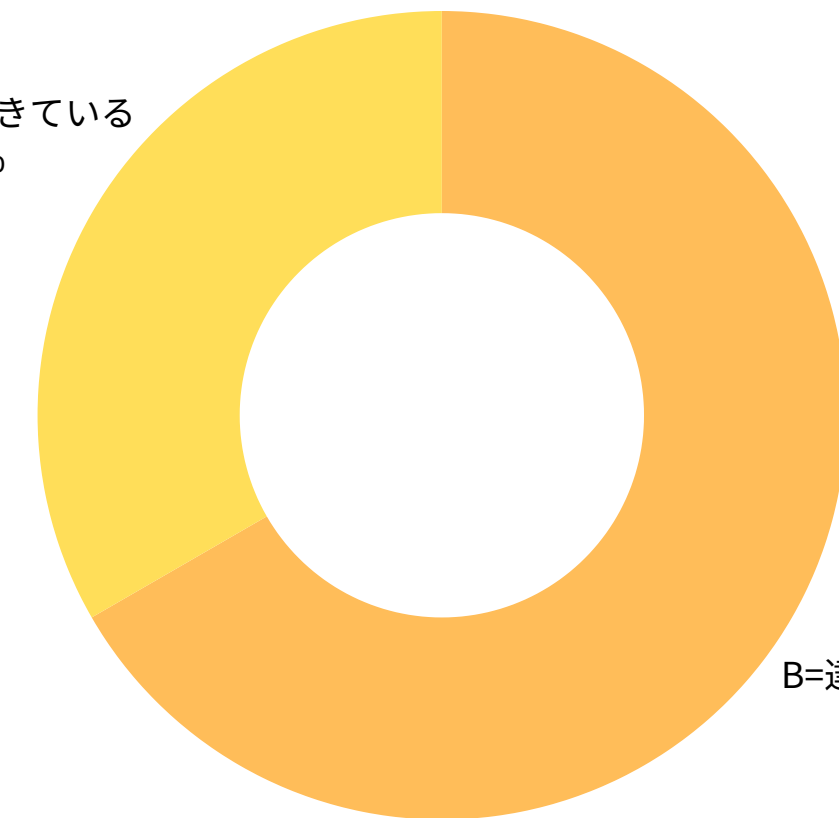
重点目標

- 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- 特別教育活動への自主的参加奨励
- ボランティア活動への積極的な参加奨励

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 後楽園や地域の工房・美術館など、毎年お世話になっている施設との連携も強化している。地域の清掃活動など、ボランティア活動に関してはもう少し強化していきたい。
- ボランティア活動を通して、地域と触れ合えたらいいと思う。
- いちご狩りや、美術館見学等、自然や芸術などに触れる活動ができた。生徒も積極的に参加できている。ボランティア活動が実施できなかったので、次年度は是非実施していきたい。

C=概ね達成できている
33.3%



B=達成できている
66.7%

..... [評価項目] 教務

具体的目標

- 生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- 基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

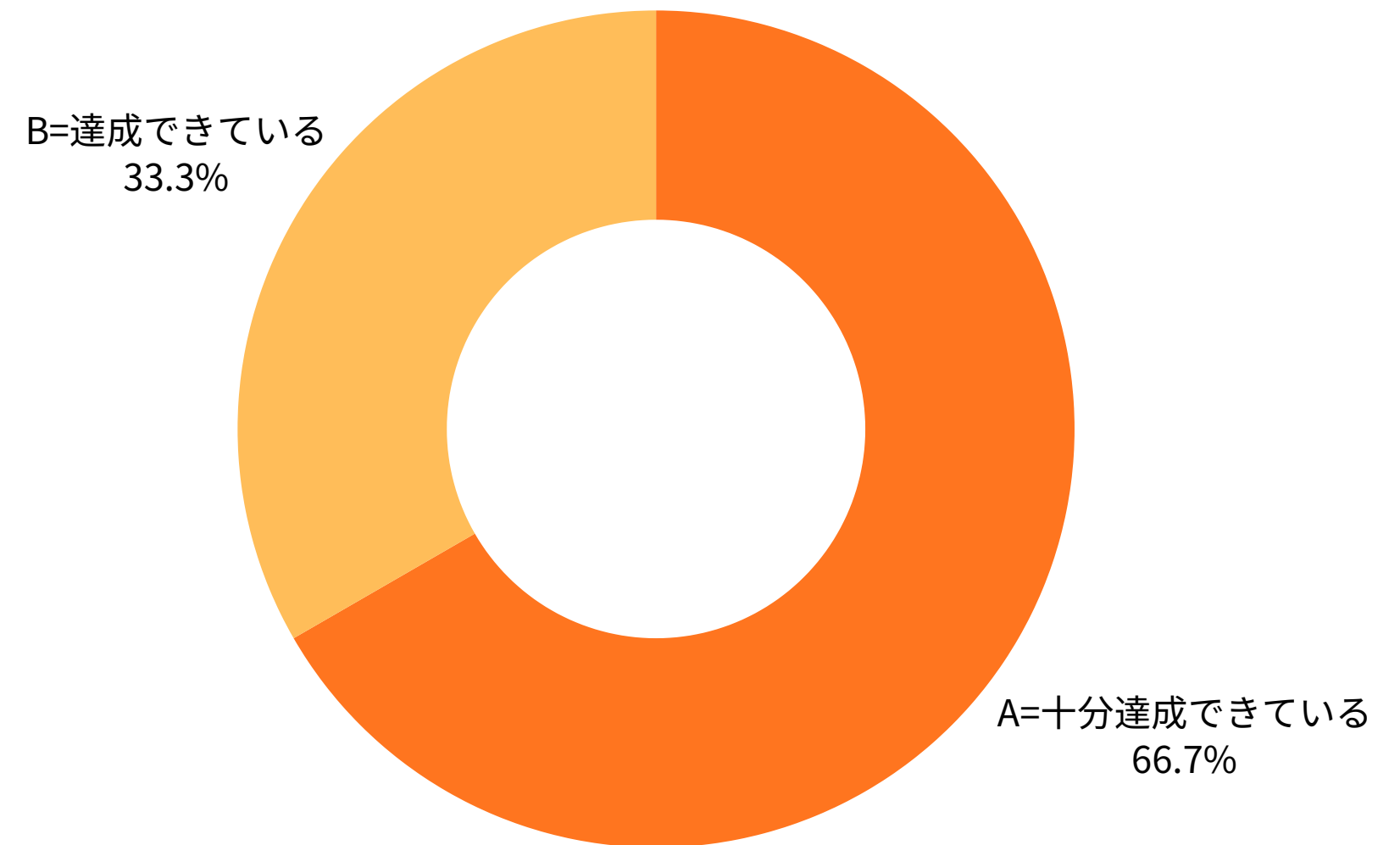
具体的方策

- 教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- 「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- テストに向けた勉強の支援を行う。
- 生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- 支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- 家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- 教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

..... [評価項目] 教務

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 全く、あるいはほとんど学校にも来れないような一部の生徒を除き、単位に関しては、ほとんどの生徒が修得できており、英語検定など単位外の挑戦にも臨める（そして達成する）生徒が増えている。
- レポートの早期提出の声掛けをする。
- スクーリングやレポートの取組具合を本人と学校で共有できた。教員の声掛けによる早めの提出の促しに効果が見られ、試験前に集中して提出されるレポート量が減り、採点の負担なども分散することができた。スクーリングやレポート提出が滞っている生徒に関しては、家庭に連絡し、連携してフォローすることで単位取得につなげることができた。次年度も続けていく。



..... [評価項目] 進路

具体的目標

- 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- 進路における情報収集を図る。

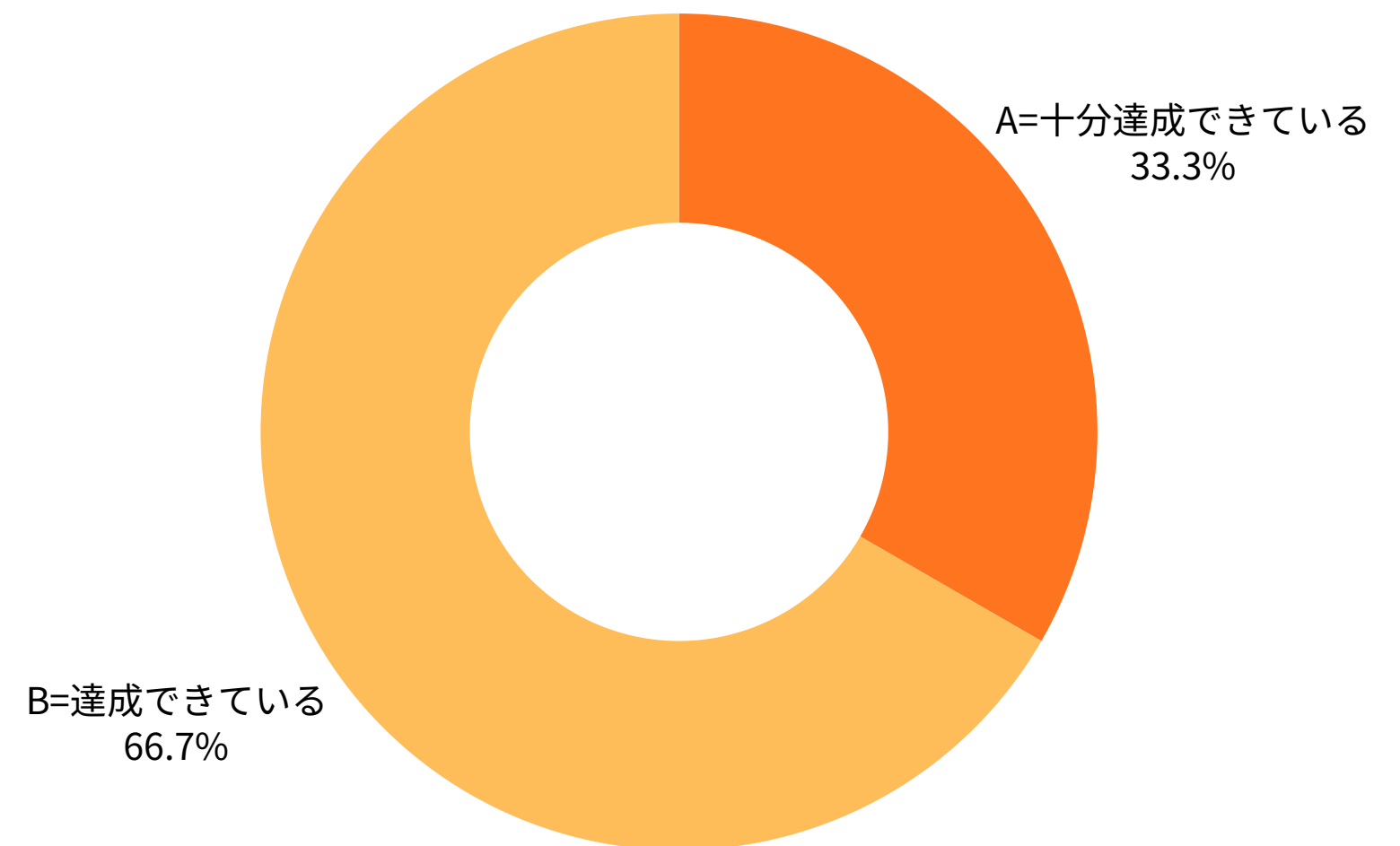
具体的方策

- 自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- 保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- 進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- 学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- 個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

..... [評価項目] 進路

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 専門学校の見学やオープンキャンパスの紹介など進路意識を育てつつ、本人の志望に合わせて個別に進路相談や面接指導などに取り組むことができた。
- 最近の大学や専門学校の動きに合わせ、二年次から、早めの情報収集とオープンスクールへの参加への声掛けができた。ほとんどの生徒が希望通りに進学できた。特別活動の中で、専門学校へ見学に行くことで、生徒の中で将来がより具体的になる様子が見られた。一般入試や英検利用入試を利用する可能性のある生徒に関しては、3年前に立ち上げた英検コースで個別に指導でき、進学先につなげることができた。次年度も続けていく。希望の生徒は、早めに複数回オープンキャンパスへ参加するように声掛けをする。



..... [評価項目]生活指導

具体的目標

- 学習する環境を整える。
- 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- 思いやりのある心の育成を図る

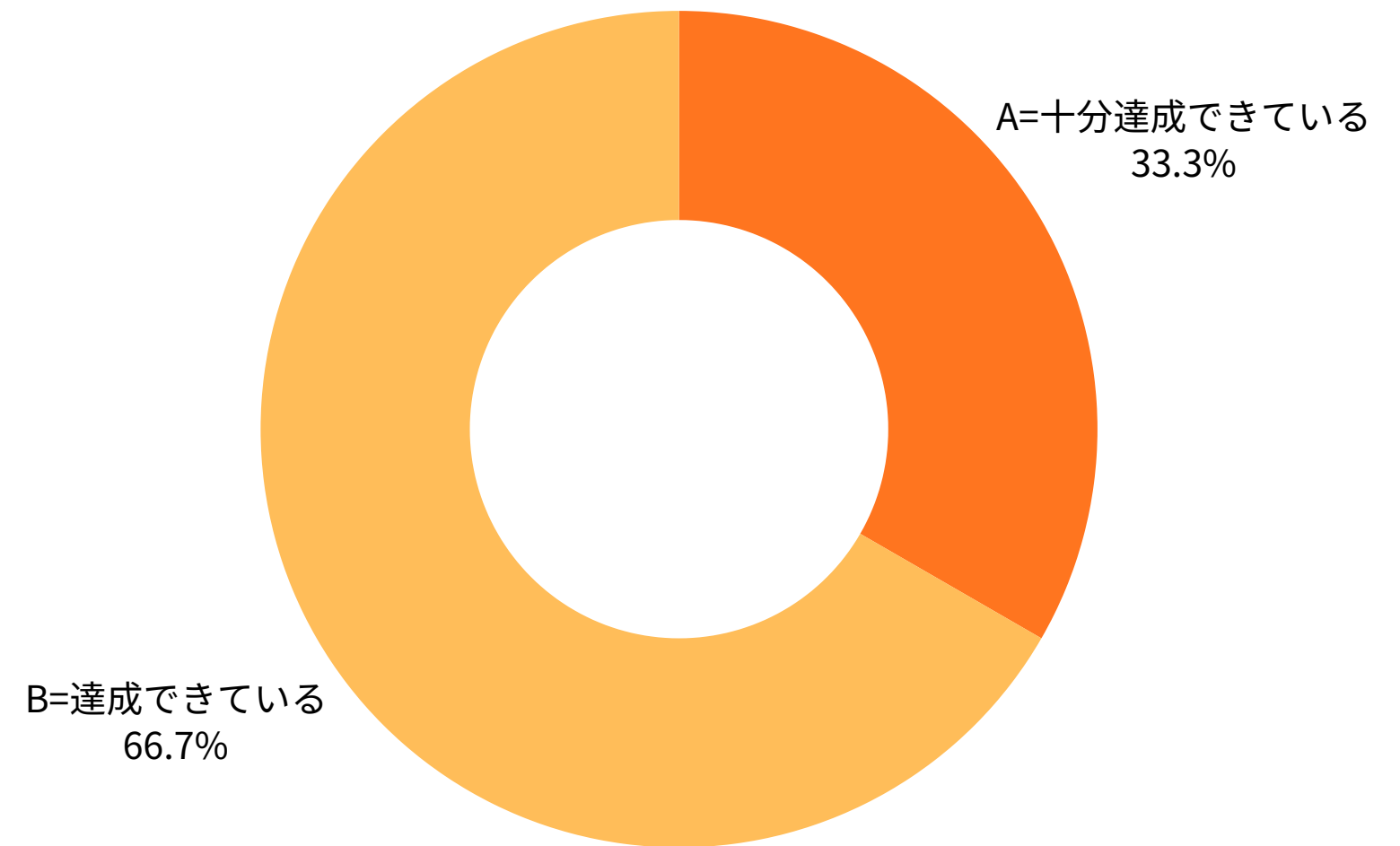
具体的方策

- 場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- 人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

[評価項目]生活指導

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学校として、いじめや暴力に対しては絶対に許さないという、断固たる姿勢を示すよう心掛けている。一方で、ルールやマナー、遵法精神や思いやりの教育については、ことさらに授業や特別活動として行うのではなく、できるだけさりげなく、普段の授業や学校生活の中で自然と身につけていってもらえるよう取り組んでいる。
- 認め合い、助け合う集団の形成を目指す。
- 全校生徒にとって気持ちの良い学校になるよう声掛けをしている。ほとんどの生徒は規範を守って学校生活を送ることができており、好感が持てた。喫煙等に関する重大な問題は確認されなかった。生徒たちの話を聞いていると、「これはやっていけない、言うてはいけない」という判断基準がきちんと認識されている様子がうかがえた。校外活動を通して、自分の行動に責任を取ること、思いやりを持った行動など、身に付けることができた。薬物の危険性、有害情報の提供などは、スクーリング、講演、面談などを通してしたことはないので、次年度は特別活動等として実施していく。



..... [評価項目] いじめ対策

具体的目標

- いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- 外部機関との連携を図る体制づくり

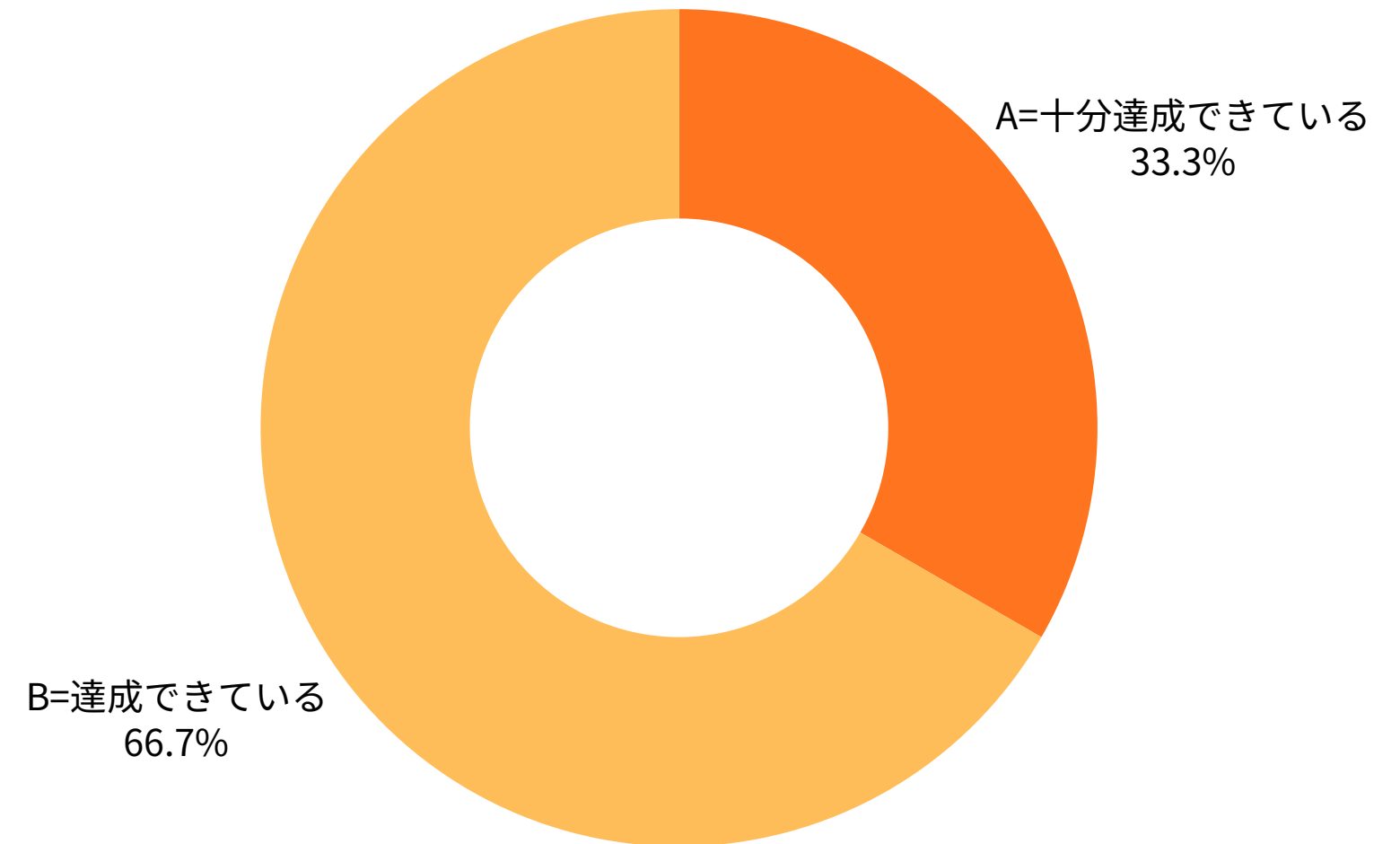
具体的方策

- 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

..... [評価項目] いじめ対策

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒間の中で好き嫌いやトラブルが生じること自体は皆無とは言えないが、それがいじめや排他的な雰囲気にはつながらないように、全体として取り組んでいる。トラブルの種が生まれそうな時点で教職員全体で情報を共有し、問題の防止やフォローに取り組んでいる。特に深刻な事態を起こすことなく、良い雰囲気を作れていると感じる。
- 「人の悪口を言わない」ことを強調して指導している。
- 転入生により、生徒同士での人間関係に問題が生じた際は、家庭と連携し、問題点を明確にし、当人や家庭から話を聞くなどの対応ができた。次年度も、被害者が出ないように、細心の注意を払い、そのようなことが認められれば随時対応していく。



..... [評価項目]安全健康管理

具体的目標

- 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- 教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う。

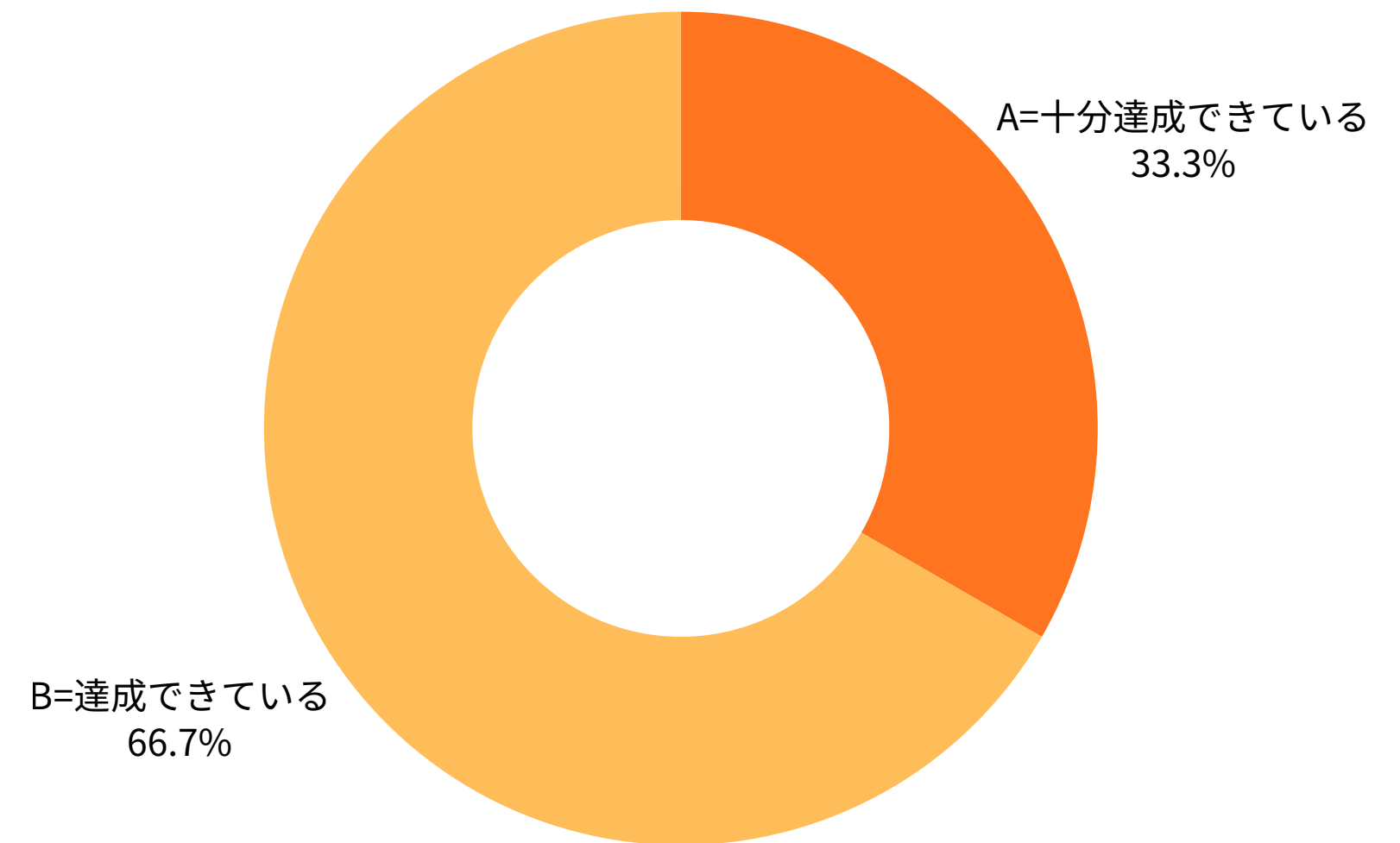
具体的方策

- 生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活が送れるように努める。
- 基本的生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。
- 不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- 地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- 生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

..... [評価項目]安全健康管理

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 全体としては単位取得や進級、卒業に向けて、ほとんどの生徒が順調に歩みを進めることができている。不登校気味の生徒宅への家庭訪問については、提案したものの本人や保護者が希望せず実現しなかった例もあった。退学者や落単をゼロにできるよう、全力で取り組んでいきたい。
- 昼夜逆転など生活リズムが乱れている生徒には、相談に乗り、アドバイスしている。
- スクーリング時に心身の不調が感じられたときは、家庭に連絡し、環境や様子を聞くとともに、今後の対応についても共有することができた。次年度も引き続き対応していく。



..... [評価項目] 生徒募集

具体的目標

- 生徒募集のための広報に努める。
- 地域との連携を深めながら
- 本校の教育目標を理解してもらう。

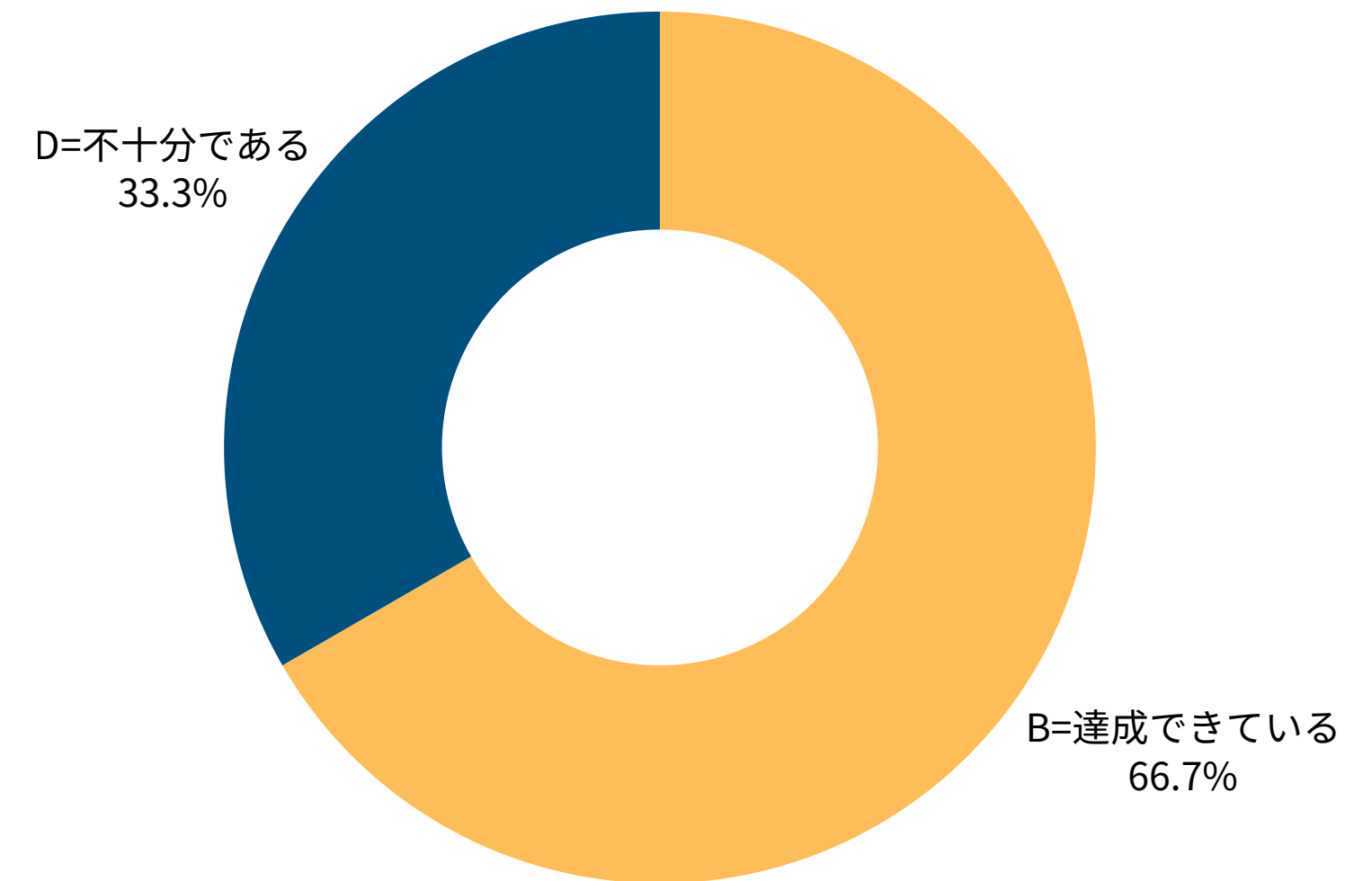
具体的方策

- 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に 努める。

[評価項目] 生徒募集

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 新規生徒募集については、当初想定を下回る結果となった。
- 資料請求など問い合わせがあった家庭には、連絡を密にする。
- 教諭が空き時間に中学校訪問できた。次年度は中学校訪問する教諭を増やして対応していく。



..... [評価項目] 教科

具体的目標

- 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- 教科の特性を生かした指導
- 担当教科との連携による生徒の指導と把握

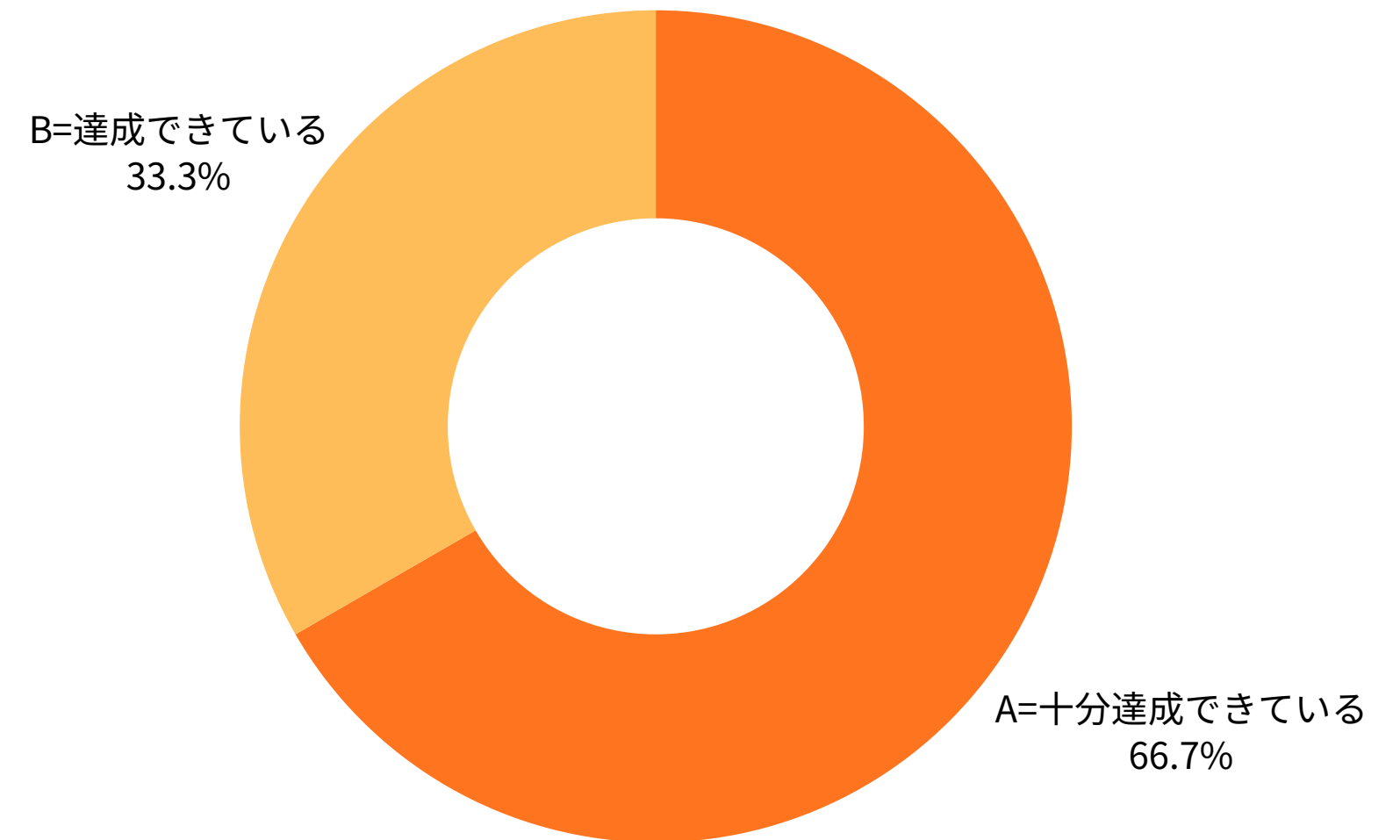
具体的方策

- 指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- 基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- 生徒一人ひとりの能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- 基本的生活習慣を身に付けさせ、計画的に学習させる。
- レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- 生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

..... [評価項目] 教科

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 単位取得のための要件をクリアした生徒が増えるにつれ登校や授業参加者が少なくなるという点は通信制課程特有の課題だが、要件クリア後も毎回授業に参加してくれる生徒や、授業自体を「面白かった」「わかりやすかった」と評して楽しみにしてくれる生徒もあり、励みとなっている。そうした生徒をできるだけ増やしていきたい。
- レポート学習に苦戦している生徒は、放課後に取り組ませる。
- 英語に関しては、レポートの個人では難しい英作文の箇所などは授業中に授業の一環として一緒に取り組むなど、工夫した授業展開ができた。次年度もより工夫しながら継続していく。



..... [評価項目] 1年生

具体的目標

- 基本的生活習慣の確立と学習活動の定着化
- 学習環境作りの推進
- 多様な生徒への配慮

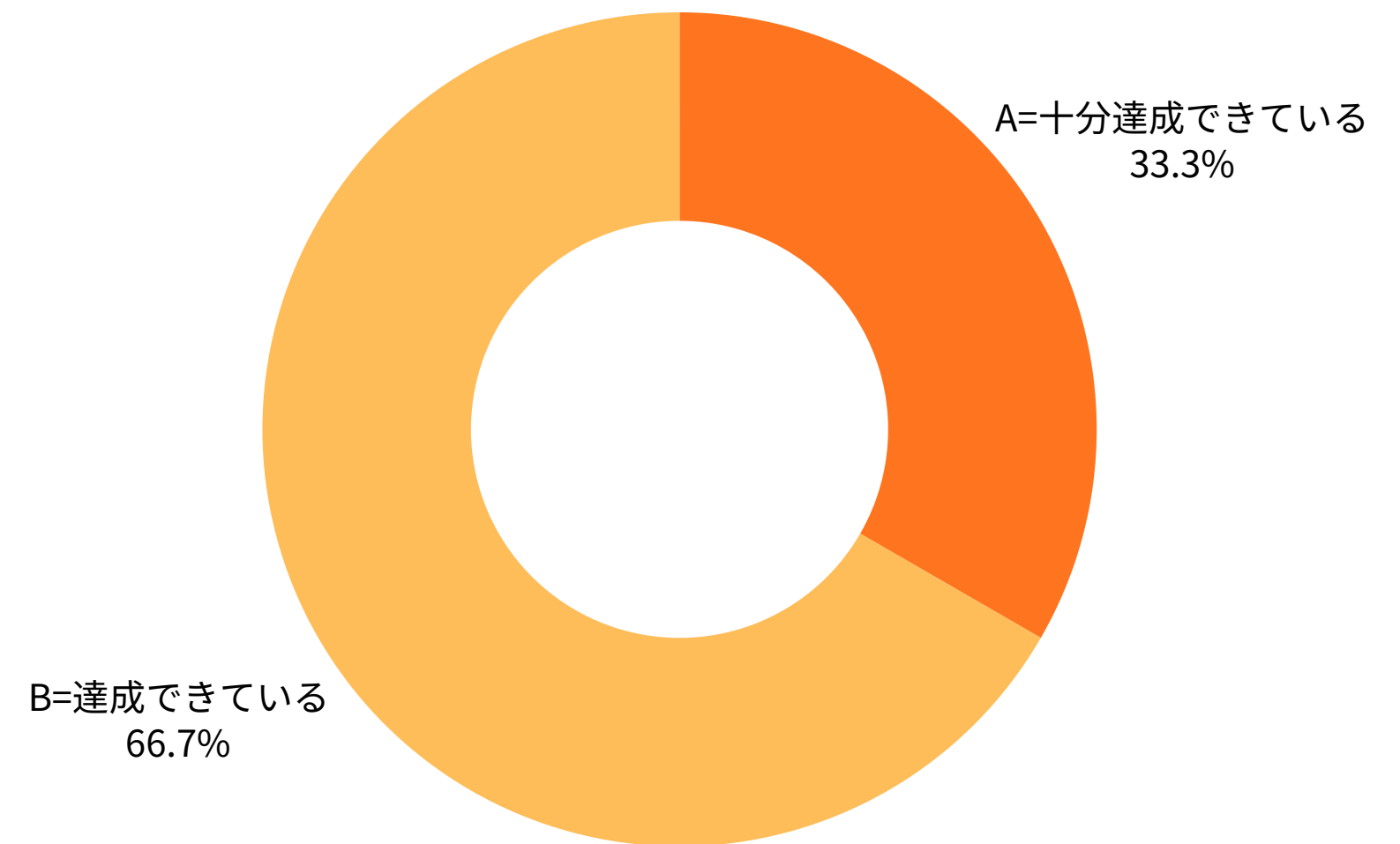
具体的方策

- 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境作りを目指す。
- 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境作りを施す。
- 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

..... [評価項目] 1年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- レポート提出やスクーリングの単位要件達成に必要なペースを繰り返し周知して意識づけしたり、1人1人、個別に達成度や不足度を把握させたりといったことを継続してきた結果、以前に比べても明らかに、レポートの提出ペースやスクーリング数の達成ペースが改善・向上してきている。自身で計画を立てたり自律的にペースを調整できる生徒も増えてきている。この流れは強化していきたい。
- 生徒が積極的に参加できるような特別活動の企画を考える。
- 全体的に副教科や特別活動も積極的に参加できている。計画的にレポート提出するよう、声掛けができた。次年度も引き続き取り組んでいく。



..... [評価項目] 2年生

具体的目標

- 学習の習慣化の定着による学力の向上
- 進路意識の向上を目指す。
- 学校行事への積極的参加

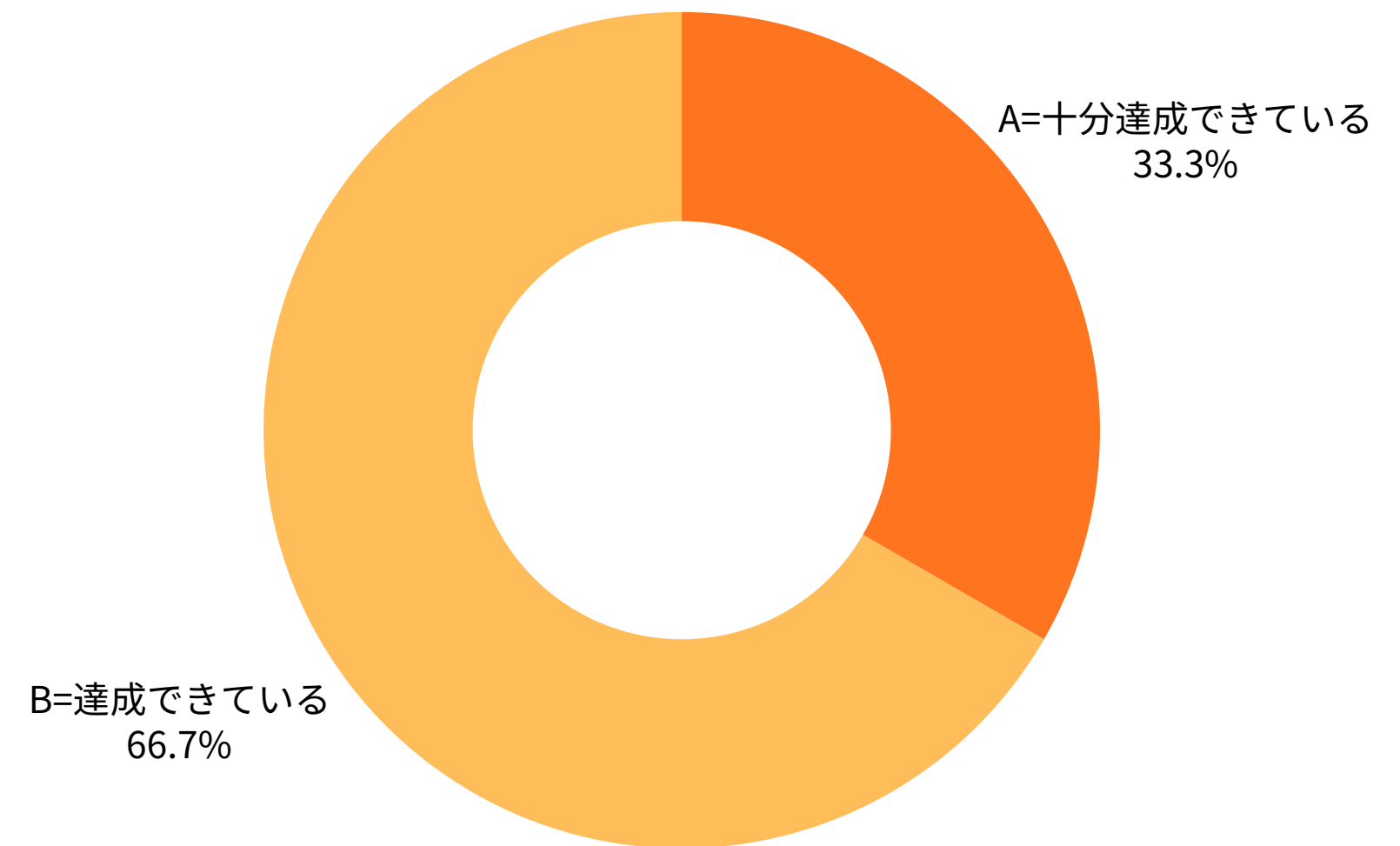
具体的方策

- 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。
- 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

..... [評価項目] 2年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- レポート提出やスクーリングの単位要件達成に必要なペースを繰り返し周知して意識づけしたり、1人1人、個別に達成度や不足度を把握させたりといったことを継続してきた結果、以前に比べても明らかに、レポートの提出ペースやスクーリング数の達成ペースが改善・向上してきている。自身で計画を立てたり自律的にペースを調整できる生徒も増えてきている。この流れは強化していきたい。
- スクーリングの参加やレポートの提出は、早めに取り組むように声掛けをする。
- 全体的に副教科や特別活動も積極的に参加できている。計画的にレポート提出するよう、声掛けができた。次年度も引き続き取り組んでいく。



..... [評価項目] 3年生

具体的目標

- 単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- 進路希望の実現
- スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- 学習意欲の持続・学力の向上
- 進路指導の充実

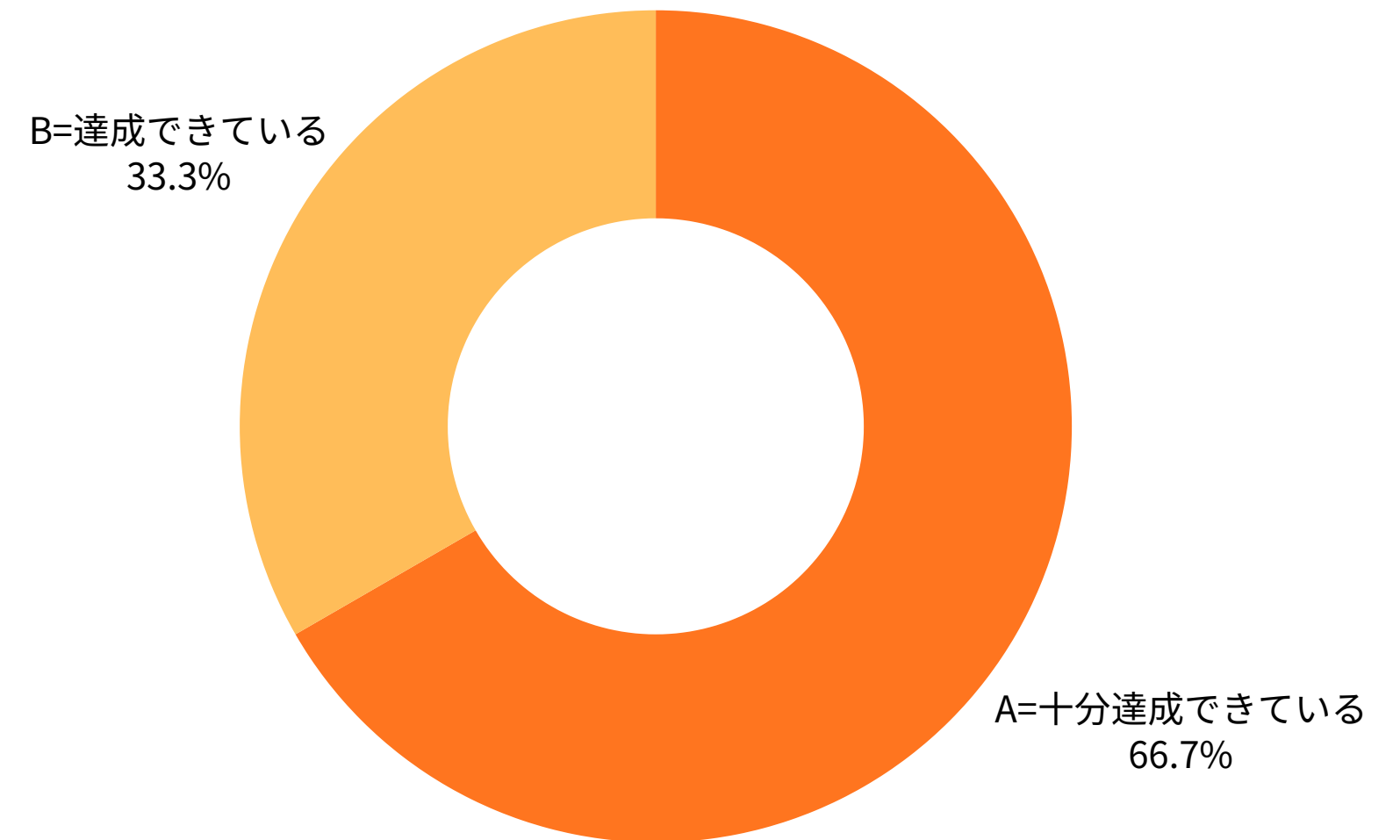
具体的方策

- スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- 将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- 経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。
- 個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実に行う。
- 常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

..... [評価項目]3年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- レポート提出やスクーリングの単位要件達成に必要なペースを繰り返し周知して意識づけしたり、1人1人、個別に達成度や不足度を把握させたりといったことを継続してきた結果、以前に比べても明らかに、レポートの提出ペースやスクーリング数の達成ペースが改善・向上してきている。自身で計画を立てたり自律的にペースを調整できる生徒も増え、全員が無事卒業することができた。
- 進路に向けては、本人・保護者と定期的に相談をしながら、決定する。
- 全体的に副教科や特別活動も積極的に参加できている。計画的にレポート提出するよう、声掛けができた。次年度も引き続けていく。



..... [評価項目] 事務関係

具体的目標

- 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。

具体的方策

- 学割や定期、願い届出等に対しての処理を適切に行っていく。
- 関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようにする。
- 学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。

..... [評価項目] 事務関係

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- こまめな連絡と情報共有を心がけ、保護者に対してほったらかしにされているといった不安を抱かせないように心掛けた。最終的に単位が取れずに退学した生徒の保護者からさえ、逆に恐縮・感謝されたほどだった。誠実さを失わずに、生徒や保護者とも向かい合っていきたい。
- 学校への問い合わせに対しても、丁寧に対応する。
- 学割や定期、願い届出等に対しての処理はその場で確認し手続きをするように心掛けた。必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布物やメールは、必ず二人以上で確認するように心掛けた。次年度も引き続き、細心の注意を払っていく。

